

## 桑標

(Sang Biao)



華東師範大学 教授

華東師範大学教授、博士課程指導教官、就学前教育・特殊教育学院長。中国心理学会常務理事、上海市心理学会副理事長、教育部高等学校心理学教育指導委員会副主任、上海市家庭教育研究会副会長。

主な研究テーマは、発達と教育心理学。

国家自然科学基金プロジェクト(就学前の子どもの「心の理論」の発達とその表現メカニズムの研究)、上海市哲学社会科学計画テーマ(子どもの潜在的な情緒コントロールの発達とそのメカニズムの研究)、全国教育科学「第10次5カ年計画」の重点テーマ(レジリエンスにおける社会認知研究)などの研究を主宰。

主な著書に、『応用発達心理学』、『現代の子どもの発達心理学』、『子どもの心理世界』などがある。

## 臨界期と早期教育

個人が発達する過程において、早期の心理発達のスピードは非常に速い。その時期に、心理発達の異なる分野において、発達に大きな役割を果たす「臨界期」は存在するのだろうか。もし存在するのであれば、臨界期の役割と価値とはいかなるものか。この問題は、心理学者・教育関係者・保護者が、共通して高い関心をもつテーマである。講演では、臨界期という概念の由来と意味、臨界期と神経の適応性、臨界期と早期教育、臨界期と早期介入などについて、関連する研究結果を提示しながら見解を述べる。